

# 2023年11月29日(水) 札幌バプテスト教会 祈禱会

本日の聖書箇所:ルカによる福音書2:22~35 (口語訳:新約86頁)

- 今日は、エルサレム神殿で、シメオンという人物が、赤ん坊イエスと出会う場面です。背景にある律法を考えると(レビ12)、イエスさまが生まれてから少なくとも33日は経っていた時のことです。
- シメオンは「正しい信仰深い人で、イスラエルの慰められるのを待ち望んでいた」とあります(25節)。彼は聖霊からの約束に希望をおいて生きていました。「主のつかわす救主に会うまでは死ぬことはない」という約束です(26節)。見えない神さまによって与えられた約束は、「神さまを見る」という内容でした。ユダヤ人の常識上、神さまを見ることは死ぬことを意味しました(出エ33:20)。シメオンは救い主を目にすることを望みつつ、死ぬことを覚悟していたのでしょう。
- 小さな赤ん坊イエスを見た瞬間、シメオンはその赤ん坊が救い主であり神であると分かりました。なぜそれが分かったかについて聖書は教えてくれません。けれども、見た瞬間分かったのです。神さまが約束を果たしてくれたことに、彼は感謝しました。それと同時に死なない自分がいることにも気づきました。その時、彼の心に変化が起こり始めたのでしょう。恐らく、律法を厳密に守るユダヤ人シメオンは、ごちごちの民族主義者でした。「イスラエルのみ」という考えです。イエスさまに会う前、彼の希望は「イスラエルの慰め」(25節)に限られていました。イエスさまと出会うことで、「イスラエルのみ」という固定観念が崩れはじめたのです。
- シメオンの行動は、今までの律法通りの真面目な振舞いを打ち破るものでした。彼は、両親からイエスを取り上げ抱っこし(28節)、祭司にささげられる前に一家を祝福しました(34節)。シメオンは祭司でもなんでもないので、祭司のように振舞ったのです。これはどう見ても律法違反です。しかも、その赤ん坊が神さまであると分かった上で祝福したのです。今までのシメオンではない、固定観念を超えていくシメオンがこの出会いを通して生まれたのです。バプテスト教会が万人祭司と言う場合には、シメオンのように誰もが祭司のように祝福できるという発想は持ちたいものです。「礼拝の中での祈禱は牧師がするもの」と考えがちですが、果たして牧師のみなののでしょうか。
- イエスさまと出会った後のシメオンの発言内容を見ると、彼が目にしていくキリストが世界の救い主であることが分かります。「救い」は「万民のまえにお備えになったもの」(31節)です。イスラエルの慰めではありません。32節の「光」(イエスさまのこと)は、異邦人を照らすための光でもあり、イスラエルの栄光のための光でもあります。彼は「イスラエルの多くの人」(34節)だけではなく、すべての人という意味の「多くの人」(35節)の救いを待ち望むようになりました。「イスラエルのみ」という固定観念が完全に崩れたのです。
- イエスさまと出会うということ、感謝が湧き上がるということであり、同時に、狭い固定観念を毎日広げる生き方を選ぶということなのでしょう。「これはこうあるべきだ」、「これはこうするべきだ」・・・「べきだ」さんから自由になるということです。今日もイエスさまが出会ってくださることに感謝しつつ、固定観念を超えていく聖霊の促しを拒まずにいたいものです。(西本詩生)

## 《祈りのリクエスト》

- |                             |  |
|-----------------------------|--|
| ① 教会の伝道の働き・教会財政のために。        | ⑨ 弁当分かち合いプロジェクト(毎週金曜)。                       |
| ② バプテスマ・入会準備中の方々。           | ⑩ 各神学校と神学生のため。                               |
| ③ 入院/療養中/高齢で来られない方々。        | ⑪ 道内の教会(無牧師の苦小牧)、<br>ハワイ・オリベット教会[姉妹教会]のため。   |
| ④ 誕生日・バプテスマを迎えた方々。          | ⑫ 日本と世界の平和のため(パレスチナ、ウクライナ、香港、ミャンマー)。被災地のため。  |
| ⑤ 主日礼拝(説教:西本牧師)             | ⑬ 困窮した生活を送っている人たち、孤独や<br>苦しみの中に置かれている人たちのため。 |
| ⑥ 「聖書を学び合う会」の活動のため。         |  |
| ⑦ ひかり幼稚園の働きのため。             |  |
| ⑧ ジョイフル コンサート・バザーのため(12/2)。 |  |

## 《私の祈りのリクエスト》